



Melbourne

# メルボルン稲門会

設立は1983年。早稲田大学と交流関係のあるモナシュ大学に留学中の現役学生も会に参加しているのが特徴だ。また、日本で早稲田に留学していたオージーの会員もいる。

駐在員が多いため会員の入れ代わりが激しく、会長も発足から27年で10代目となっている。しかし、歴代会長・幹事を中心に新入会員の獲得に絶えず努力してきたおかげで、現在も40名の会員を擁している。

メルボルン稲門会の伝統行事は早慶対抗ゴルフマッチ。多いときは両校合

## メルボルンの魅力

ビクトリア州の州都メルボルンは、オーストラリア大陸の最南端に位置する。

劇場、コンサートホール、そしてギャラリーの複合施設ビクトリア・アート・センターでは、アートフェスティバルや音楽祭といった文化行事が年間を通して開催されている。また、ビクトリア州立美術館をはじめとする博物館・美術館も充実しており、オーストラリアNo.1、世界でも指折りの文化都市に数えられている。

いっぽう、豪州オープンテニス、F1グランプリ、モトGP、競馬のメルボルンカップなど、世界的なスポーツイベントも盛んに開催されている。オーストラリアの国技ともいわれるAFLオーストラ



写真撮影:板屋雅博 (<http://melhyak.web.fc2.com/>)

せて10組40人も参加する一大ゴルフ大会である。かつては早稲田側が圧倒的に強く、一時は慶應側から対戦拒否を受けたほど。このゴルフマッチでは10年間で3回ものホールインワンがあった。

ゴルフ以外にも夏はバーベキュー、秋は栗拾い、冬はスキーといったイベントを開催している。また、会員の得意分野を生かした講演会も開催している。



市内を流れるヤラ川



競馬メルボルンカップ

豪州オープンテニス

モトGP

リアン・フットボールも、メルボルンが中心だ。

『エコノミスト』誌の「世界で最も暮らしやすい都市」に2回も選ばれ、常に上位を維持してきたことも住民の自慢の1つだ。スポーツや文化を充実させ、住みやすい街をつくってきたのは、世界中からの移民である。日本人も含め世界中からやって来た人びとが、厳しい歴史を乗り越えて現在のメルボルンを築いた。さまざまな文化を背景を持った移民が作り出す「調和」——これこそがメルボルンを象徴する言葉だ。



フリンダース・ストリート駅

## メルボルン稲門会の人びと

### メルボルンが好き、メルボルン稲門会が好き

★メルボルン生活25年の新老人の私にとって、当地での稲門会は無論、東京での稲門会でも若い人たちと一緒に校歌を声高らかに歌うのはまさに若さを保つ特効薬といえます。ますます発展させていきましょう。

海老原弘 (1960年商学)

★東京とメルボルン間の8000km。少し遠く感じますが、早稲田は近くに感じます。「世界で最も住みやすい国」にある、最も楽しい稲門会。Let's Enjoy!!

櫛部克紀 (1996年教育)

★メルボルン稲門会は結束力では他の稲門会にひけを取りません。旧事務局「京都レストラン」で歌った「都の西北」が懐かしい。

板屋雅博 (1981年政経)

★まさに集り散じて人は変われど……のメルボルン稲門会ですが、帰国者でつくる東京支部のあることが、何より会の充実した活動や素晴らしい人の輪の現れと思います。ゴルフの早慶戦の後などに歌う校歌や応援歌は最高です。

中川伸太郎 (1970年理工)

★メルボルンの人たちは早寝早起きです。スーパーマーケット、魚屋、肉屋、八百屋はみな6時から営業しています。交通ラッシュも6時から始まります。でも、終わるのは早く、Workerの人たちは4時には帰宅するので3時過ぎからは仕事をしません。人びとは大変Friendlyで街で会った知らない人でも気軽に声を掛けてきます。年寄り、体の悪い方、女性、妊娠中の方には特に親切で、席を譲ったり手助けをするのが当然。人のよい性格は持って生まれたものと学校で教わることにともよ思います。こちらに来て30年、オーストラリア人に何度も助けられました。昔の東京の下町みたいです。

中野浩二 (1970年教育)

★ここメルボルンでも先輩に甘えております。早稲田の血は素晴らしい！

齋藤 敬 (2000年理工)



市場の様子

### 会長メッセージ

外国で早稲田卒のさまざまな年次の人びと、さまざまな業種・生活環境の人びとと交流を深め、「都の西北」と一緒に歌えるのは楽しいものです。メルボルン稲門会はそのような場を提供する貴重な存在です。

ところで、オーストラリアに在住していて、教育面で憂いていることがあります。それは近年、オーストラリアに留学してくる中国人・韓国留学生数が激増しているいっぽう、日本人留学生が激減していることです。幸い、メルボルンのモナシュ大学は早稲田大学と歴史的につながりがあることから、両校のさらなる関係強化に向けて、メルボルン稲門会の活動が一助となれば幸いです。

滝 道郎 (オーストラリア三菱商事会社社長/1974年理工)

### メルボルンを訪問される方は…

メルボルン稲門会の前会長、板屋雅博氏 (1981年政経) が編集長を務めるウェブサイト、「GO 豪メルボルン」(<http://www.gogomelbourne.com.au/>) をチェック。現地の生きた情報満載。

板屋氏はメルボルン唯一の日本人ジャーナリストでもある。日系現地新聞のカメラマンとしても活躍中で、メルボルンF1グランプリ、Moto GP (オートバイレース)、全豪オープンテニス、競馬メルボルンカップや、スポーツ大国オーストラリアでも大人気のAFL (オーストラリアン・フットボールリーグ)、サッカー(豪州代表サッカー)、ワラビー (豪州代表ラグビー) といった各種ビッグイベントでは、カメラと記者証を片手に活躍している。

